

ぬくもりほつとらいん事業報告2009

活動と学びを両輪として

2004年は「ふくでん」の間に約1900件の電話相談を受けてきた。そして2008年4月にぬくもりほっこりんがNPO法人になり電話による相談活動に加えて、傾聴啓発事業として広く市民に学習の場を提供しようと考へてきました。そして去年第一回『ぬくもり講座』を立ち上げることができ、多くの市民の参加を得ることができた。

活動と学びを車の両輪としてこれからもすすんでいきたい。

活動と学びを車の両輪としてこれからもすすんでいきたい

活動としての 【体験電話】

ん”という名称が表す通り、電話相談がこのグループの活動の根幹となる事業である。

びそれに魅せられ、尚それを深めていこうとする人々が、社会に対して今の自分たちに何が出来るかと始めたのが、悩んでいる人たちの話を聴こうという活動だった。

1年目	1 7 3 件
2年目	2 1 2 件
3年目	2 7 2 件
4年目	2 8 6 件
NPO法人化	
1年目	5 0 5 件
2年目	4 0 8 件

電話の受け手を支える研修

その1【ふり返り研修】

人の話を傾聴しようとすると、そこには「ふりかえり」という研修の場が不可欠であると考える。それゆえ電話相談を受けるメンバーはこの月一回の研修を必須としている。

電話の受け手を支え る研修

“これまでの「個別取引」”と
名付けている。

からにして、一何故あの時にあんな対応をしたのだろう」「電話の相手への批判の気持ちは何故湧いたのか」など、メンバーの力を借りながら自分を見つめていく。ときにこの作業は厳しくもあるが、自分を知るための豊かな時

「アシレーテーを
中心にグループをつく
り、自分の聴き方の癖
や課題を検討し合う。
電話が切れた後の何か
スッキリしないモヤモヤ
や、後悔の思いを手が
かりこそ、「可哀想の



その2 【ステップアップ】

これは電話の受け手が自主運営する自主参加の研修である。毎月の第一水曜と日を決めてその日来られる人が自由に参加するという緩やかな集まりである。

いる人も参加しやすい
ように配慮している。
多忙な生活から離れ
非日常の時間の流れに
身を置いて、じっくり、
ゆっくり自分と向き合
い、また仲間とのコミュニケーション
に集中して
いくことは、疲れた身

市民と共に学ぶ 「ぬくもり講座」

中心になる何人かのファシリテーターがいて、内容はロールプレイやエンカウンターまでゲーム感覚のエクササイズを用意しているが、参加者は各自自分が分のニーズに合わせて研鑽することを目標としている。

毎回20名前後の参加がある。無理なく楽しみながら、各自のステップアップに役立つてい

NPO法人はながたのをきっかけに、電話相談活動に加えて傾聴啓発事業を展開しようとを考え、市民と共に学ぶ講演会形式の講座を立ち上げた。一回限りの講演会ではなく、現在社会に起きている様々な問題や状況を、解き明かしていく。専門の講師を招いて、一つのテーマで年間をとおして継続的に深

く学んでいける。よし』めくもり講座』と名付けて一般に公開募集をし

第一弾は『家族のかたちと愛情を問い合わせなおす』その先に求められているものは何か?』というテーマで、立教大学の小倉康嗣先生をお迎えした。95名の登録をいただき、5回の延べ 参加人数は368名となり好評のうちに幕をとじた。

なり好評のうちに幕を
とした。
第二弾の2010年度
は『発達障害と呼ばれる
子どもたちの理解と
対応』というテーマで東
京学芸大学名誉教授
の上野一彦先生にお越
しいただくことになつて
いる。(詳細は3ページ)



『ぬくもり講座』で学ぶ参加者

その3【宿泊研修】
原則毎年に行われる二泊三日の宿泊研修も、電話相談の受け手の準必須の研修となっている。様々な理由で宿泊できない人は通りで参加出来るように会場を千葉市内に設けている。また時間も金曜の夜から日曜日の午後までとし、仕事をして

その3【宿泊研修】

原則毎年に行われる二泊三日の宿泊研修も、電話相談の受け手の準必須の研修となつてゐる。様々な理由で宿泊できない人は通りで参加出来るようになつた。また時間も金曜日の夜から日曜日の午後までとし、仕事をして

『ぬくもり講座』で学ぶ参加者

なり好評のうちに幕を
とした。
第二弾の2010年度
は『発達障害と呼ばれる
子どもたちの理解と
対応』というテーマで東
京学芸大学名誉教授
の上野一彦先生にお越
しいただくことになつて
いる。(詳細は3ページ)

なり好評のうちに幕を
とした。
第二弾の2010年度
は『発達障害と呼ばれる
子どもたちの理解と
対応』というテーマで東
京学芸大学名誉教授
の上野一彦先生にお越
しいただくことになつて
いる。(詳細は3ページ)

内等は自分を知り、
体と心を癒す作用もある。